

平成27年11月30日

NASVA（自動車事故対策機構）

企画部 関上、亀井、立川

電 話 03-5608-7584

N A S V A（自動車事故対策機構）

平成27年度上半期業務実績について

NASVA第3期中期計画及び平成27年度計画に基づき取り組んでいる各業務の今年度上半期業務実績の概要につきまして、別紙のとおり公表いたします。

なお、上半期においては、

○安全指導業務への民間参入が順調に増加

○関東地区における新たな委託病床の委託先病院を決定

したことを始め、各業務とも概ね順調に進んでいる状況です。

独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）は、人と車の共存を理念として、自動車事故被害者を「支える」、自動車事故を「防ぐ」、自動車事故から「守る」の3つの業務を一体的に実施しています。

(別紙)

1. 指導講習

指導講習全体の受講者数は、58,829 人となりました（前年同期比 約 7% 減）。

インターネット予約により早期予約が可能となる等の利便性を強調して説明したことにより、利用者が増え、インターネット予約による受講割合は、年度目標 80% を上回る 88.3%（前年同期比 3.5 ポイント増）となりました。インターネット予約の増加は利用者の利便性向上だけでなく NASVA の業務効率化にも役立っています。

2. 適性診断

適性診断全体の受診者数は、前年同期とほぼ横ばいの 250,791 人となりました（前年同期比 約 0.4% 増）。

予約方法について、指導講習と同様の取組を実施した結果、インターネット予約による受診割合は、年度目標 55% を上回る 72.4%（前年同期比 6.6 ポイント増）となっています。

また、i-NATS^(注1) 導入契約事業者及び貸出機器による支所以外での一般診断の受診割合は、52.8%（前年同期比 1.4 ポイント増）となっています。

（注1）i-NATS とはインターネットを活用した適性診断システムのこと。

3. 安全指導業務（指導講習・適性診断）の民間参入支援

適性診断認定機関であり、当機構の i-NATS を利用している 36 者に対し、15,696 件（前年同期比 約 48% 増）の i-NATS による受診測定を実施した。また、指導講習認定機関となっている団体等に対し、NASVA の作成した指導講習教材の提供を 15,710 部（前年同期比 約 94% 増）行いました。さらに、国土交通省の認定資格要件を取得される団体等向けに、適性診断事業の「第一種カウンセラー要件取得研修」及び指導講習事業の「第一種講師要件取得研修」を実施しました。このような民間団体等の認定取得の支援を行った結果、指導講習では累計 41 者、適性診断では累計 45 者が、国土交通省の認定を受け、事業実施に参入しています。



（第一種カウンセラー要件取得研修）



（第一種講師要件取得研修）

4. 安全マネジメント関連業務

(1) 安全マネジメントコンサルティング等

運送事業者等に対して運行の安全管理体制の構築等を支援するため、コンサルティング、講師派遣、安全マネジメント関係講習会及びマネジメント評価を実施しました。

(2) ISO 39001（道路交通安全マネジメントシステム）^(注2)の普及・啓発活動

運送事業者等における道路交通安全マネジメントシステムの普及・啓発を図ることを目的として、NASVA が開催した ISO 39001 紹介セミナーでの規格概要説明に加え、外部機関が主催するセミナーや研修会に講師を派遣し、ISO 39001 の制定の経緯・意義及び本規格の要求事項についての解説を行いました。

このような普及・啓発活動の実施により、認証取得企業数は 120 社（NASVA 調べ）となっています。

また、平成 27 年度から国土交通省が、ISO39001 の認証取得に係る講習等（ISO コンサルティング）を受講する企業や団体を対象として、自動車事故対策費補助金（安全運転推進事業）を交付することとなり、NASVA は本補助金を活用したコンサルティングを受注しました。

（注2）国際標準化機構（ISO）において定められた国際規格の一つで、「道路交通事故による死亡・重傷者の撲滅」を目指し、2012 年 10 月 1 日に発行

(3) 安全マネジメントセミナーの開催

10 月 15 日に東京国際フォーラム（東京都千代田区）において「第 10 回 NASVA 安全マネジメントセミナー」を開催し、1,117 人の方にご参加いただきました。



セミナーでは、各界より講師をお招きし、ご講演いただいたほか、自動車運送事業者様等から運輸安全マネジメント制度開始からの 10 年間の安全対策の取組を振り返り、これからの展望を語るパネルディスカッション等を開催した結果、セミナー参加者数は過去最大となりました。

(4) 貸切バス事業者安全性評価認定制度^(注3)への協力

（公社）日本バス協会の貸切バス事業者安全性評価認定制度について、昨年度に引き続き、同制度へ申請した事業者のうち 141 事業者に対し現地訪問による審査を実施しました。

（注3）（公社）日本バス協会において、観光バス等の貸切バス事業者からの申請に基づき安全性や安全の確保に向けた取組状況について評価認定を行い、これを公表するもの

5. 療護施設の設置・運営

(1) 脱却者数^(注4)

入院患者（遷延性意識障害者）の状態に応じた適切な治療及び看護等に努めた結果、療護施設^(注5)の脱却者数は、年度目標 19 人に対し 10 人になりました。

（注4）意思疎通・運動機能が一定以上改善し、療護施設を退院した患者の数

(注5) NASVA が遷延性意識障害者の専門病院として設置・運営委託を行っている療護センター（全国に4箇所）及びNASVA 委託病床（全国に3箇所）の総称

(2) NASVA 委託病床^(注6)の拡充

関東地区の委託病床については、平成27年4月15日に委託先病院を募集するための入札公告を行い、「委託病床に係る総合評価委員会」の審議を経て、湘南東部総合病院（神奈川県茅ヶ崎市）と委託契約を締結しました。平成28年4月頃入院患者受入れを開始する予定です（当初6床、概ね3ヶ月後に12床）。

(注6) 一般病院の施設を利用した療護施設機能を有する病床

(3) 療護施設の広報

治療改善効果を高めるため事故後早期の入院ができるよう、救命救急センター等の病院、損害保険会社の保険金支払い部門、被害者家族団体等を通じ、自動車事故被害者に対して、療護施設の広報を行っています。

(4) 療護施設の治療・看護の普及活動

療護センターで得られた知見・成果を他の医療機関等において最大限活用する観点から(3)に掲げた広報の取組のほか第24回日本意識障害学会等において計21件の学会発表を行うとともに、短期入院協力病院及び短期入所協力施設の看護師等50人に対する専門研修を実施しました。

6. 重度後遺障害者に対する援護

(1) 訪問支援

介護料受給資格者^(注7)等の支援のため、直接自宅を訪問して、介護に関する相談・情報提供を行う訪問支援について、年度目標55%に対し34%、1,560件を実施しました。介護に関する相談対応・各種情報提供・短期入院・入所などのコーディネート等の支援を実施しました。

(注7) 介護料受給資格者とは、後遺障害の程度に応じて介護料受給資格の認定を受けた者

(2) 介護料受給者等の交流会

訪問支援による精神的な面での支援に加え、同じ境遇にある各家庭の介護者等が介護における悩みを共有し、互いに情報交換をしていただくよう交流会を6支所において開催し、残りの支所についても下半期に実施することを予定しています。



(3) 介護料の支給

自動車事故を原因とする重度の後遺障害により、常時又は随時の介護が必要な方に対し、後遺障害の程度、介護の状況に応じて介護料を支給しました。介護料受給資格者数は、4,610人となっています。

今後も被害等の状況に応じた介護料の支給を適切に行っていきます。

(4) 短期入院・入所への支援

介護料受給資格者に係る短期入院・入所費用に係る助成について、延べ581人に

対して行いました（前年同期比 6.4%増）。

また、短期入院協力病院^{（注8）}（以下「協力病院」）の利用促進を図るため、訪問支援・交流会を通じ、介護料受給資格者と協力病院間とをつなぐコーディネートを積極的に行っています。

（注8）短期入院協力病院とは、国土交通省が指定した介護料受給資格者の短期入院（原則、1 回の入院が 2 日以上 14 日以内）を積極的に受け入れている病院のこと

7. 交通遺児等に対する支援

自動車事故による交通遺児等の方に対する育成資金の新規貸付は 6 件あり、貸付利用者総数は 195 人となりました。貸付制度の広報のため、各主管支所・支所を通じ、損害保険協会、JA 共済、市町村、教育委員会等へリーフレットを配布しています。

また、貸付金額の選択制の導入や返還方法の要件緩和等、利用者ニーズに即した柔軟な運営に向け、制度改正を行いました。

さらに、交通遺児とその家族を会員とする「友の会」において、以下の活動を行い、被害者家族同士のコミュニケーションや交通遺児等の健全な育成を図る精神的支援を行いました。



（1）友の会の集い

被害者家族同士の交流の場として「友の会の集い」を全 50 支所のうち 44 支所で実施しました。

（2）保護者交流会

「友の会」に所属する交通遺児の保護者同士が悩み事を語り合い親睦を深める場として「保護者交流会」を全 50 支所のうち 46 支所で延べ 47 回実施しました。

（3）企業等からの支援

コスモ石油（株）主催の 2 泊 3 日のキャンプ体験や、マツダ（株）主催のプロ野球オールスターゲームの招待等、多くの企業等から友の会会員にご支援をいただきました。



8. NASVA 交通事故被害者ホットライン利用実績

ホットラインへの相談件数は、インターネットを情報源とする相談が増加し、1,585 件となりました。主な問い合わせ内容は、「事故後の対応や事故に関する全般的なこと」、「保険金・保険会社に関すること」、「損害賠償のこと」についてでした。

9. 自動車アセスメント情報提供業務

(1) 予防安全性能アセスメント評価の拡充

近年の安全な自動車へのニーズの高まりとともに、緊急時に自動でブレーキをかける技術のような事故を未然に防止する技術、いわゆる「予防安全技術」を搭載した車が急速に普及しています。このことを踏まえ、昨年度から開始した衝突被害軽減ブレーキ試験（対車両 AEBS^(注9)）について17車種を、車線逸脱警報装置（LDWS^(注10)）についても15車種の試験を実施し、評価結果を公表したほか、今年度から新たに後方視界情報提供装置（バックビューモニター）について17車種の試験を実施し評価結果を公表しました。



予防安全性能アセスメントの評価結果の見方、試験方法の概要などについては、以下のホームページをご参照ください。

（注9）Autonomous Emergency Braking System

（注10）Lane Departure Warning System

予防安全性能アセスメント HP: http://www.nasva.go.jp/mamoru/active_safety_search/

(2) 被害者援護業務との連携及び自動車アセスメントの周知

昨年度に引き続き、本部・地方支所等合わせて8ヶ所（上半期中）の各種イベントで、試験車両の展示や簡単・確実な装着が可能な ISO-FIX 方式のチャイルドシートの装着体験の実施等により、自動車アセスメントを中心としたNASVA業務全体の周知を行ったほか、交通事故被害者交流会において、これ以上交通事故被害者を増やさないために、自動車アセスメント事業が、より安全な自動車の普及に取り組んでいることを紹介しました。



(3) 自動車アセスメント関係国際会議に参加

本年6月にイエテボリ（スウェーデン）で開催されたグローバルNCAPフォーラム会議及びテクニカルセッションにおいて、JNCAPの活動と予防安全性能評価試験について情報収集及び意見交換を実施したほか、日本の自動車アセスメントの発展に貢献されている自動車アセスメント評価検討会の宇治橋座長が米国運輸省道路安全局（NHTSA）長官から表彰されました。



【宇治橋座長の表彰】

10. 広報実績

本年4月に東京都江東区で行われた「交通安全。アクション2015（主催：（一社）日本自動車会議所）」に出展し、i-NATSの体験受診を実施するとともに、安全指導業務、被害者援護業務及び自動車損害賠償保障制度周知などの広報を行いました。

また、昨年度に引き続き東京日本橋において「ナスバギャラリーIN東京」を9月に開催し、交通遺児等及び重度後遺障害者の創作作品を展示し、一般の方にNASVAの被害者援護業務等のPRと自賠責保険の確実な加入を促すための広報・啓発活動を実施しました。

各支所においては、交通安全県民フェア等の各種イベント等に積極的に参画し、動体視力測定やi-NATSの体験受診、自動車アセスメント試験車両の展示等を行うとともに、被害者援護業務及び自動車アセスメント等のパンフレットを配布し、NASVA業務のPRを実施しました。



【「交通安全。アクション2015」のブースの様様】



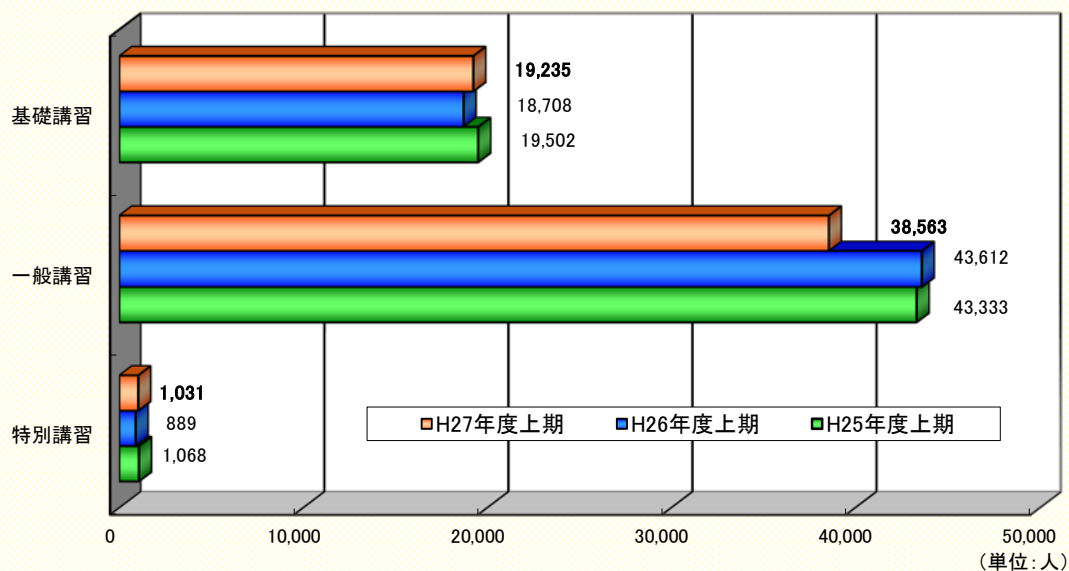
【「ナスバギャラリーIN東京」の様子】

1. 指導講習実績関係、2. 適性診断実績関係

別添資料

指導講習受講者数

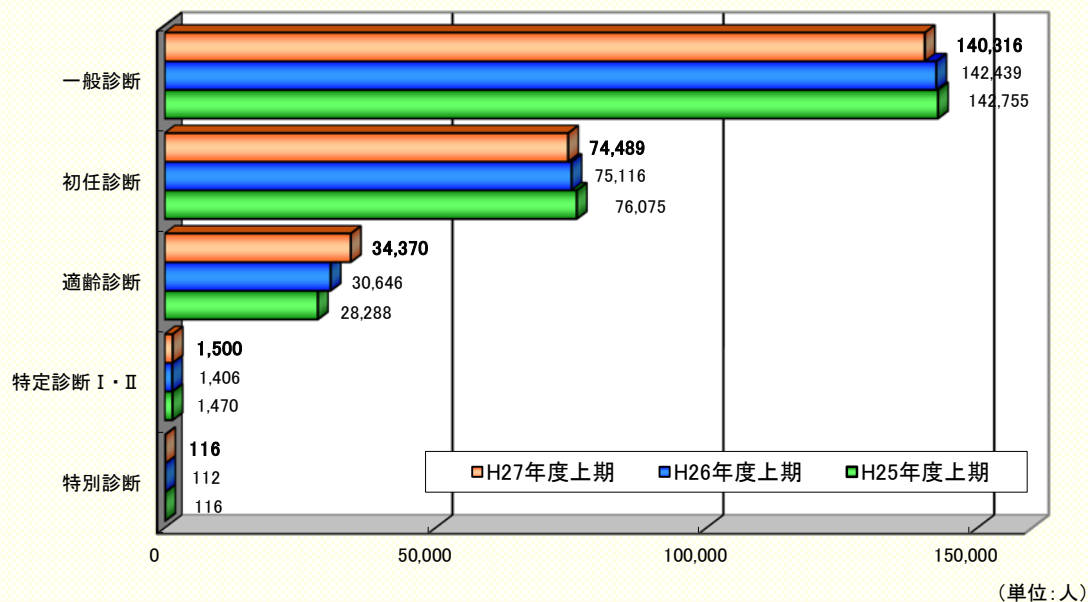
(単位:人)



	H25年度上期	H26年度上期	H27年度上期	対前年同期比(%)
基礎講習	19,502	18,708	19,235	102.8
一般講習	43,333	43,612	38,563	88.4
特別講習	1,068	889	1,031	116.0
合計	63,903	63,209	58,829	93.1

適性診断受診者数

(単位:人)



	H25年度上期	H26年度上期	H27年度上期	対前年同期比(%)
一般診断	142,755	142,439	140,316	98.5
初任診断	76,075	75,116	74,489	99.2
適齢診断	28,288	30,646	34,370	112.2
特定診断Ⅰ・Ⅱ	1,470	1,406	1,500	106.7
特別診断	116	112	116	103.6
合計	248,704	249,719	250,791	100.4

指導講習業態別・講習別実績

○平成27年度上期

(単位:人)

	バス	ハイタク	トラック	事業用計	その他	総計	対前年同期比
基礎講習	2,284	1,729	14,262	18,275	960	19,235	102.8%
一般講習	5,767	4,466	28,194	38,427	136	38,563	88.4%
特別講習	138	197	696	1,031	－	1,031	116.0%
総計	8,189	6,392	43,152	57,733	1,096	58,829	93.1%

○平成26年度上期

(単位:人)

	バス	ハイタク	トラック	事業用計	その他	総計	対前年同期比
基礎講習	2,082	1,671	13,998	17,751	957	18,708	95.9%
一般講習	6,718	5,196	31,546	43,460	152	43,612	100.6%
特別講習	115	134	640	889	－	889	83.2%
総計	8,915	7,001	46,184	62,100	1,109	63,209	98.9%

○平成25年度上期

(単位:人)

	バス	ハイタク	トラック	事業用計	その他	総計	対前年同期比
基礎講習	2,245	1,851	14,265	18,361	1,141	19,502	96.6%
一般講習	6,323	5,208	31,662	43,193	140	43,333	90.5%
特別講習	235	191	642	1,068	－	1,068	89.9%
総計	8,803	7,250	46,569	62,622	1,281	63,903	92.3%

適性診断業態別・診断別実績

○平成27年度上期実績

(単位:人)

	バス	ハイタク	個タク	トラック	事業用計	自家用	総 計	対前年同期比
一般診断	15,517	9,556	2,708	102,647	130,428	9,888	140,316	98.5%
特別診断	34	19	0	32	85	31	116	103.6%
任意計	15,551	9,575	2,708	102,679	130,513	9,919	140,432	98.5%
初任診断	6,612	8,813	3	58,562	73,990	499	74,489	99.2%
適齢診断	3,301	19,254	4,222	7,264	34,041	329	34,370	112.2%
特定診断Ⅰ	180	547	64	638	1,429	43	1,472	106.4%
特定診断Ⅱ	9	10	0	9	28	0	28	127.3%
義務計	10,102	28,624	4,289	66,473	109,488	871	110,359	103.0%
総 計	25,653	38,199	6,997	169,152	240,001	10,790	250,791	100.4%

○平成26年度上期実績

(単位:人)

	バス	ハイタク	個タク	トラック	事業用計	自家用	総 計	対前年同期比
一般診断	14,006	11,922	3,081	102,504	131,513	10,926	142,439	99.8%
特別診断	26	23	4	27	80	32	112	96.6%
任意計	14,032	11,945	3,085	102,531	131,593	10,958	142,551	99.8%
初任診断	6,238	9,309	0	59,007	74,554	562	75,116	98.7%
適齢診断	3,138	17,165	4,365	5,798	30,466	180	30,646	108.3%
特定診断Ⅰ	171	518	65	576	1,330	54	1,384	94.8%
特定診断Ⅱ	5	8	1	8	22	0	22	220.0%
義務計	9,552	27,000	4,431	65,389	106,372	796	107,168	101.3%
総 計	23,584	38,945	7,516	167,920	237,965	11,754	249,719	100.4%

○平成25年度上期実績

(単位:人)

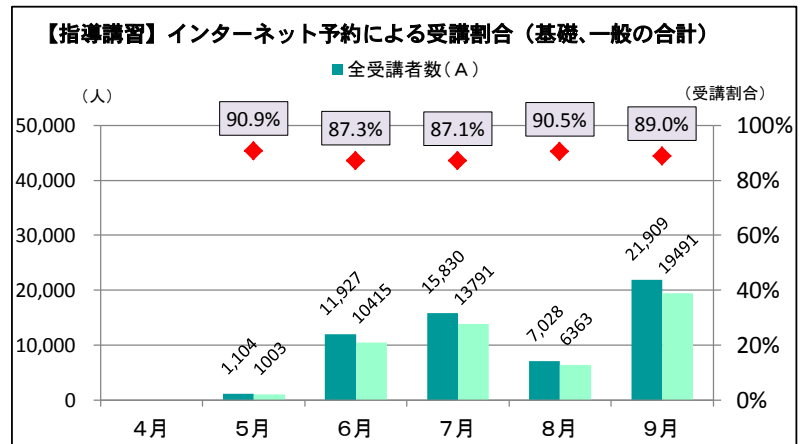
	バス	ハイタク	個タク	トラック	事業用計	自家用	総 計	対前年同期比
一般診断	16,226	13,085	3,645	100,013	132,969	9,786	142,755	95.7%
特別診断	40	30	1	31	102	14	116	87.9%
任意計	16,266	13,115	3,646	100,044	133,071	9,800	142,871	95.7%
初任診断	7,043	10,466	8	58,006	75,523	552	76,075	101.3%
適齢診断	2,796	16,342	4,314	4,702	28,154	134	28,288	106.7%
特定診断Ⅰ	200	486	92	628	1,406	54	1,460	96.9%
特定診断Ⅱ	3	3	1	3	10	0	10	50.0%
義務計	10,042	27,297	4,415	63,339	105,093	740	105,833	102.6%
総 計	26,308	40,412	8,061	163,383	238,164	10,540	248,704	98.5%

指導講習・適性診断(その他の業務実績)

1. インターネット予約による受講割合(指導講習) (月別)

	平成26年度 上期	平成27年度 上期
全受講者数(A)※	62,320	57,798
インターネット予約による 受講者数(B)	52,857	51,063
インターネット予約 の割合(B/A)	84.8%	88.3%

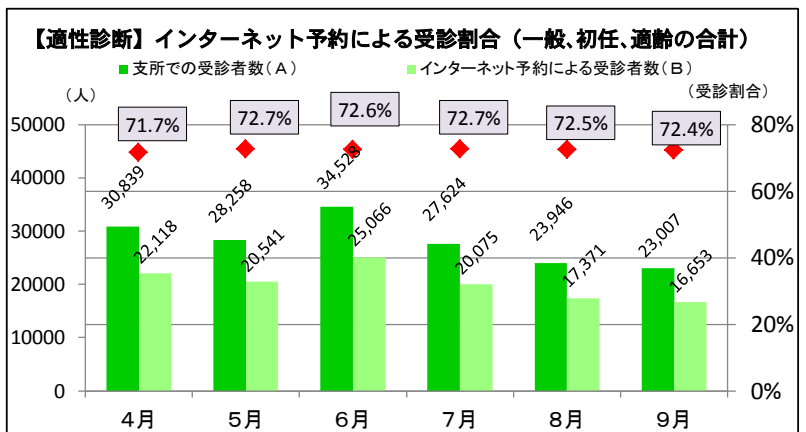
※基礎・一般講習の受講者数合計



2. インターネット予約による受診割合(適性診断) (月別)

	平成26年度 上期	平成27年度 上期
全受診者数(A)※	168,343	168,202
インターネット予約による 受診者数(B)	110,806	121,824
インターネット予約 の割合(B/A)	65.8%	72.4%

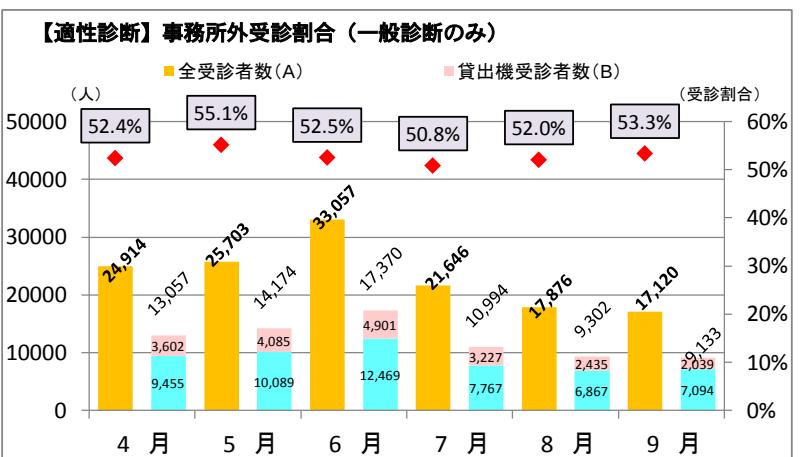
※一般・初任・適齢診断の支所内受診者数合計



3. 支所外での一般診断受診割合

(月別)

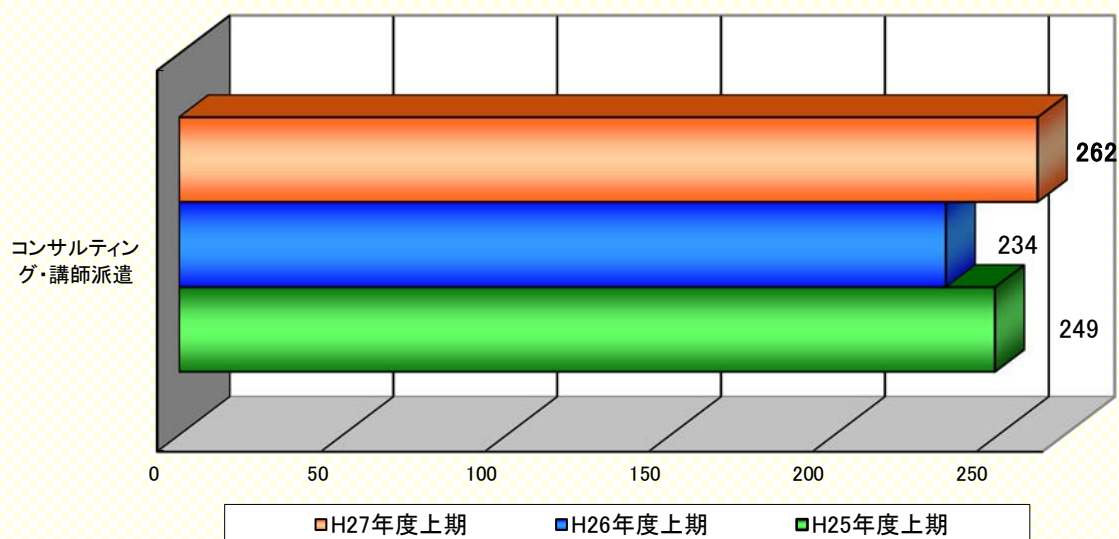
	平成26年度 上期	平成27年度 上期
全受診者数(A)	142,439	140,316
貸出i-NATSによる 受診者数(B)	53,811	20,289
i-NATS導入契約事業者 における受診者数(C)	19,338	53,741
支所外での受診率 (B+C/A)	51.4%	52.8%



4. 安全マネジメント関連業務実績関係

コンサルティング・講師派遣

(単位: 件)

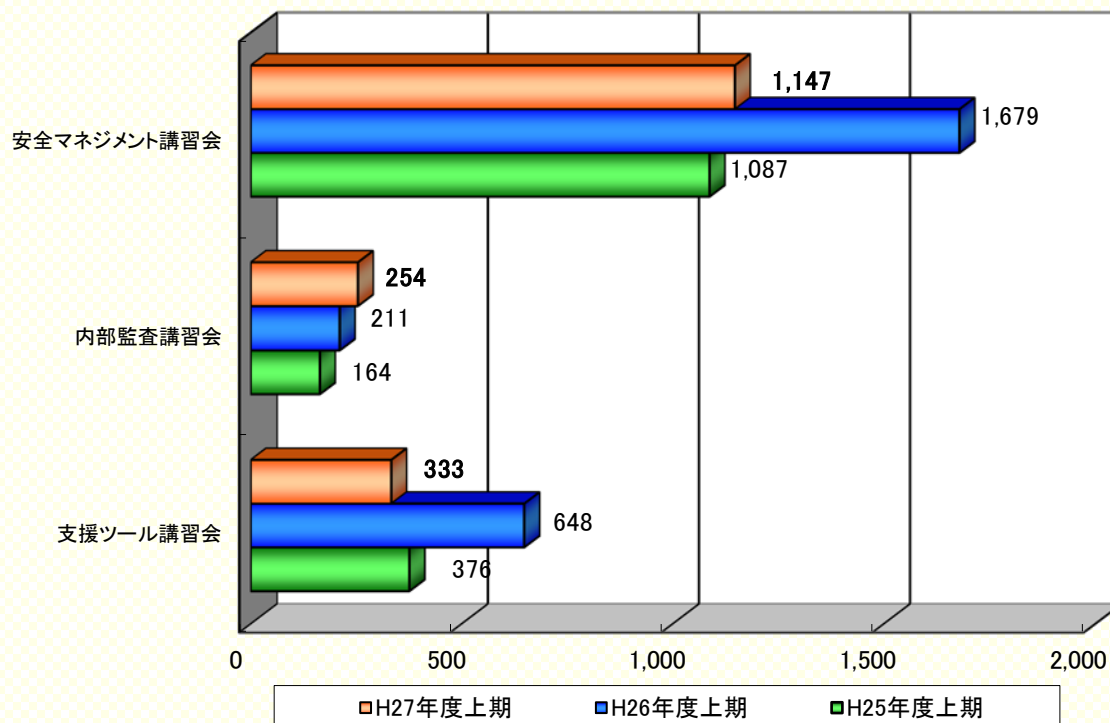


(単位: 件)

	H25年度上期	H26年度上期	H27年度上期	対前年同期比(%)
コンサルティング・講師派遣	249	234	262	112.0

安全マネジメント関連講習会

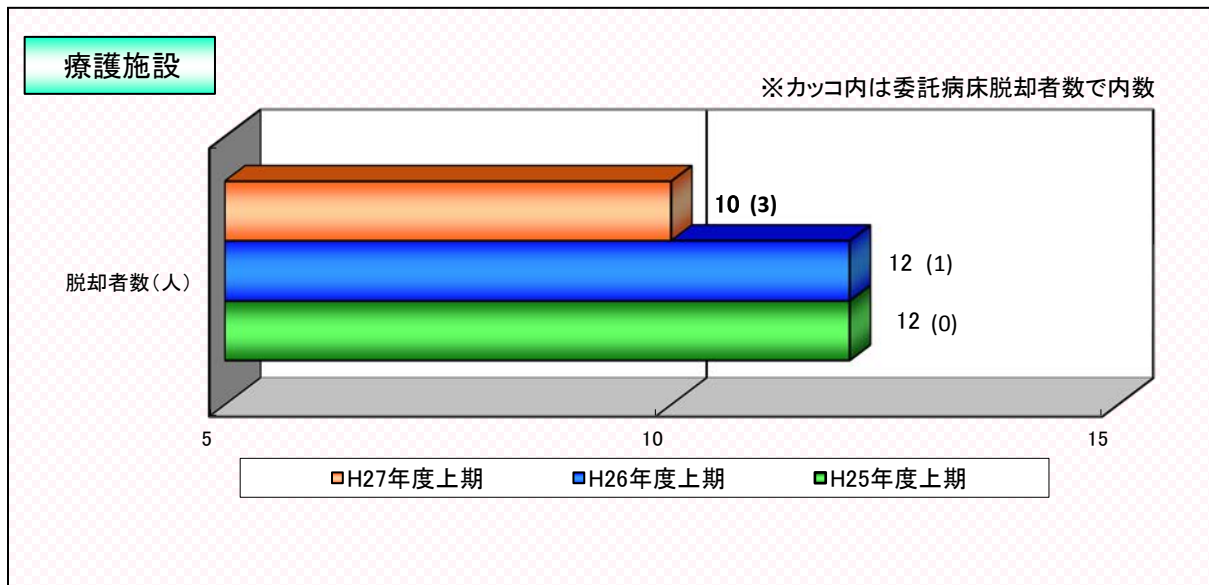
(単位: 人)



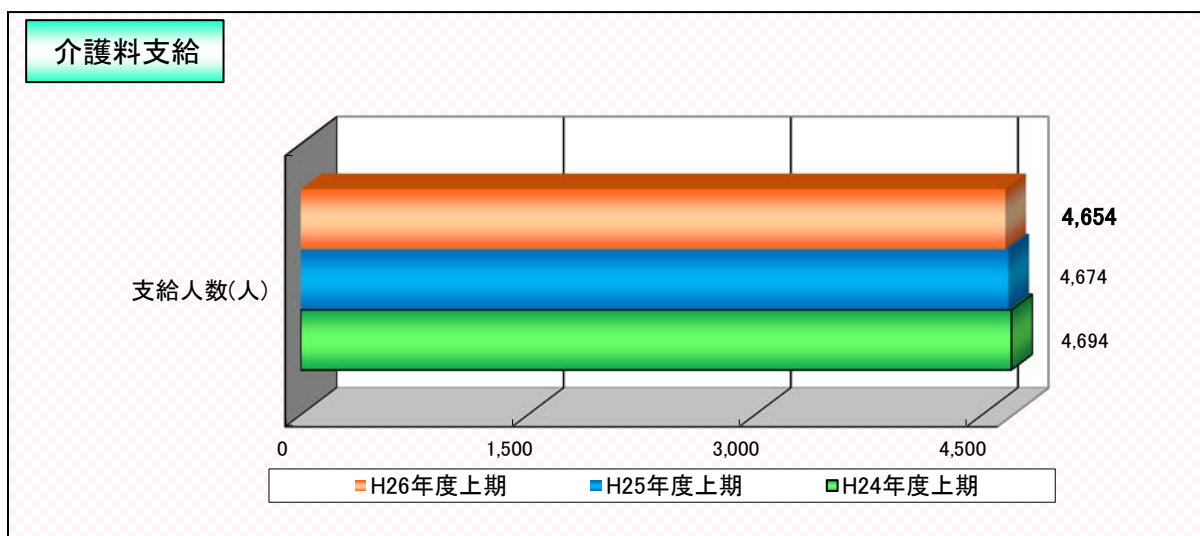
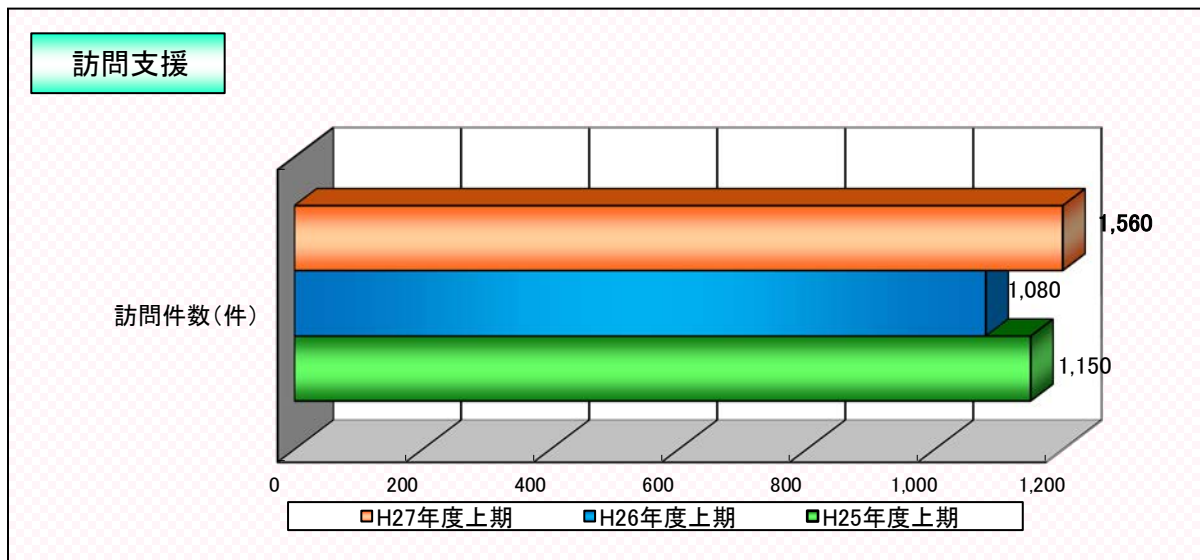
(単位: 人)

	H25年度上期	H26年度上期	H27年度上期	対前年度比(%)
安全マネジメント講習会	1,087	1,679	1,147	68.3
内部監査講習会	164	211	254	120.4
支援ツール講習会	376	648	333	51.4
合 計	1,627	2,538	1,734	68.3

5. 療護施設の設置・運営

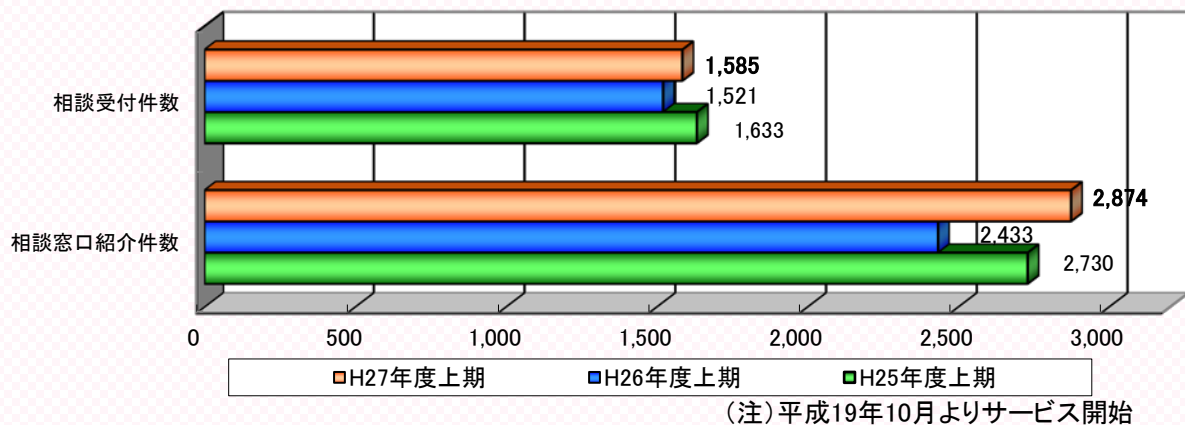


6. 重度後遺障害者に対する支援

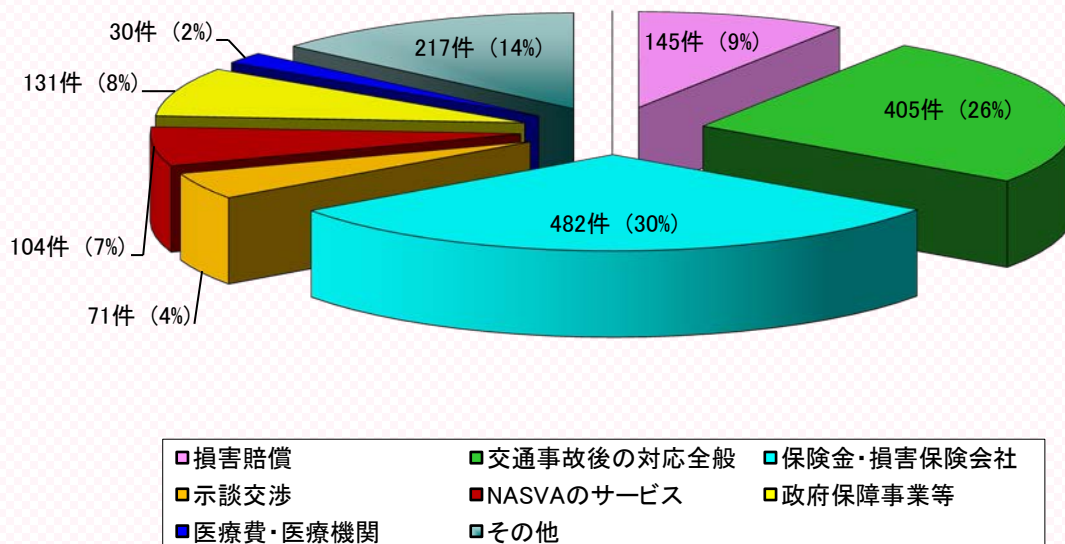


8. NASVA交通事故被害者ホットライン利用実績関係

(1) 相談受付件数及び相談窓口紹介件数



(2) ホットラインへの問い合わせ内容



(3) 紹介した相談窓口

